

第 51 回日本原生生物学会大会 口頭発表

口頭発表

繊毛虫ミドリゾウリムシにおける結晶構造の維持機構

○塚越 亮允¹・児玉 有紀²

¹鳥取大学大学院 連合農学研究科, ²島根大学 生物資源科学部

ミドリゾウリムシ共生クロレラのゲノム・トランスクリプトーム解析から明らかになった大規模な遺伝子増加と共生の関連性

○嶺井 隆平¹・保科 亮¹・洲崎 敏伸²・小倉 淳¹

¹長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部, ²神戸大学 理学研究科

渦鞭毛藻細胞内共生珪藻にもオートファジーはあるのか?!

○矢崎 裕規¹・上原 忠晃²・坂本 寛和³・水島 昇³・橋本 哲男^{1,4}・稲垣 祐司^{1,4}

¹筑波大 生命環境系, ²筑波大 院 生命環境科学研究科, ³東京大 院 医学系研究科, ⁴筑波大 計算科学研究セ

ハプト藻のハプトネマにおけるセントリン関連タンパク質の局在

○梁瀬 隆二¹・野村 真未^{1,2}・柴 小菊¹・稲葉 一男¹

¹筑波大学 下田臨海実験センター, ²京都大学 大学院理学研究科 生物物理学教室

繊毛虫の固液界面への集合

○西上 幸範¹・大村 拓也²・市川 正敏²

¹北海道大学 電子科学研究所, ²京都大学大学院 理学研究科

繊毛虫 *Colpoda cucullus* の休眠シスト形成に対する温度の影響

○島田 雄斗¹・松岡 達臣²・有川 幹彦²

¹高知大学大学院 総合人間自然科学研究科, ²高知大学 理工学部

原生生物嗅覚学はじめました。

○矢吹 彬憲¹・伊左治 雄太²・菅 寿美²・伊東 薫¹・中村 多実子¹・大河内 直彦²・藤倉 克則¹

¹海洋研究開発機構 海洋生物多様性研究分野, ²海洋研究開発機構 地球生物化学分野

ゾウリムシの生活史相転移におけるイマチュリンの役割

○芳賀 信幸

石巻専修大学大学院 理工学研究科

新規クラミドモナス突然変異株 *pma2* の細胞巨大化と鞭毛数異常

○三輪 彩・原田 美咲・内藤 紗花・廣野 雅文

法政大学 生命科学部

有中心粒太陽虫 *Raphidiophrys contractilis* のケイ酸質被殻の機能

○洲崎 敏伸¹・大谷 咲会¹・長尾 賢杜¹・有川 幹彦²

¹神戸大 理 生物, ²高知大 理工 生物

ミドリゾウリムシの細胞内共生における共生藻の利益

○岩井 草介・藤田 京佑・高西 裕樹・福士 皓太
弘前大学 教育学部

トキソプラズマにおける宿主オルガネラリクルート因子の同定と解析

福本 隼平^{1,2}・佐倉 孝哉¹・松原 立真^{1,2}・田原 美智留¹・松崎 素道¹・○永宗 喜三郎^{1,3}
¹国立感染症研究所 寄生動物部,²筑波大学大学院 生命環境科学研究科,³筑波大学生命環境系

テトラヒメナにおけるアクチン重合阻害剤に対する耐性能獲得機構の研究 —アクチンホメオスタシス制御機構の存在—

○沼田 治・清水 祐太・赤澤 大樹・中野 賢太郎
筑波大学 生命環境科学研究科

繊毛虫テトラヒメナの配偶核形成に関わるクロマチン再構成因子の探索

○福田 康弘¹・明松 隆彦²・多田 千佳¹・中井 裕^{1,3}
¹東北大学大学院 農学研究科,²ウィーン大学 染色体機能学,³新潟食料農業大学

テトラヒメナのプログラム核死におけるミトコンドリアの分裂と死

○杉原 樹恵・遠藤 浩
金沢大学大学院 自然科学研究科

原生生物を用いた実験生態系により生態系変化を理解する

○細田 一史
大阪大学 未来戦略機構

ポスター発表

繊毛虫 *Blepharisma* におけるジャイアント形成機構の解明に向けて -新たな繊毛形成に関わる遺伝子の探索とその発現解析-

○大北 千紗¹・春本 晃江²・杉浦 真由美²
¹奈良女大院 生物科学,²奈良女大 研究院 自然科学系

繊毛虫 *Blepharisma stoltei* におけるジャイアントの形態的特徴と形成過程

○井坂 友紀¹・杉浦 真由美²・春本 晃江²
¹奈良女大院 生物科学,²奈良女大 研究院 自然科学系

繊毛虫 *Blepharisma* におけるガモン2 生合成に関わる TMO 相同遺伝子の探索

○佐藤 恵那¹・杉浦 真由美²・春本 晃江²
¹奈良女大院 生物科学,²奈良女大 研究院 自然科学系

繊毛虫ブレファリズマの数種における凍結保存の試み

○佐々木 愛澄¹・杉浦 真由美²・春本 晃江²
¹奈良女子大学大学院 人間文化研究科,²奈良女子大 研究院 自然科学系

The seasonal dynamics of some centrohelid and actinophryid heliozoans species (Centrohelida, Actinophryida) in artificial pond

○Liudmyla P. GAPONOVA

Laboratory of Preservation and Renewal of Biodiversity, Institute for Evolutionary Ecology of the National Academy of Sciences of Ukraine

酵母を用いたミドリゾウリムシ共生藻の高効率な培養法

○前田 一平¹・佐藤 健太²・櫻田 文彰²・三浦 貴士²・岩井 草介²
¹弘前大学大学院 教育学研究科, ²弘前大学 教育学部

ミドリゾウリムシと酵母の共生について

○山中 佑夏¹・児玉 有紀²
¹島根大学大学院 生物資源科学研究科, ²島根大学 生物資源科学部

長期培養モデル生態系における藻類・細菌間共生の進化

○安部 雄一¹・藤井 陽介¹・松浦 正幸¹・坪井 睦枝²・松本 沙千²・堀澤 栄³・佐久間 洋¹・中島 敏幸¹
¹愛媛大学大学院 理工学研究科, ²愛媛大学 理学部, ³高知工科大学大学院 工学研究科

緑藻と繊毛虫間の細胞内共生の進化における資源交換と外部環境からの供給を必須とする資源:3 種モデル生態系を用いた実験的解析

○松田 達也¹・佐古 壮一郎¹・西窪 健太²・中島 敏幸²
¹愛媛大学 理学部, ²愛媛大学大学院 理工学研究科

テトラヒメナの蛍光グルコース誘導体の分布と遊泳速度

○柳田 滢・中野 博文・上野 裕則
愛知教育大学大学院 教育学研究科

沖永良部島・与論島におけるヤマトシロアリ属の共生原生生物の種組成

○北出 理¹・野田 悟子²
¹茨城大学 理学部, ²山梨大学 生命環境学部

繊毛虫 *Lacrymaria olor* のプロボース伸縮運動

○矢野 優樹¹・石田 秀樹²
¹島根大学大学院 生物資源科学研究科, ²島根大学 生物資源科学部

病原性原虫のナショナルバイオリソースプロジェクトの展望

○風間 真¹・矢口 貴志²・平山 謙二¹・金子 修¹
¹長崎大学 熱帯医学研究所, ²千葉大学 真菌医学研究センター

ボルボックスの教育環境における実験生物としての新たな可能性と、個体群密度が増殖速度に与える影響

○太田垣 匠・○竹内 美瑠・加藤 多貴・木村 茉由・服部 優希
神戸高校 総合理学科三年

大会シンポジウム

『実はこんなに魅力的!理科教育に役立つ原生生物たち』

原生生物若手の会の紹介

柴田 あいか

立命館大学 生命科学

これなら簡単、手間いらず!小魚や二枚貝のエサ調べ

末友 靖隆

岩国市マイクロ生物館

原生生物を用いた細胞運動の研究と実験

園部 誠司

兵庫県立大 大学院 生命理学研究科

細胞内共生と光合成生物の進化・多様化

宮城島 進也

国立遺伝学研 細胞遺伝研究系

日本原生生物学会学会賞受賞 特別講演

土壌環境を中心とした自由生活性の原生生物における種多様性及び生態の解明

島野 智之

法政大 自然科学セ